

【関心企業募集】医療都市構想に関心のある日本企業の皆様へ

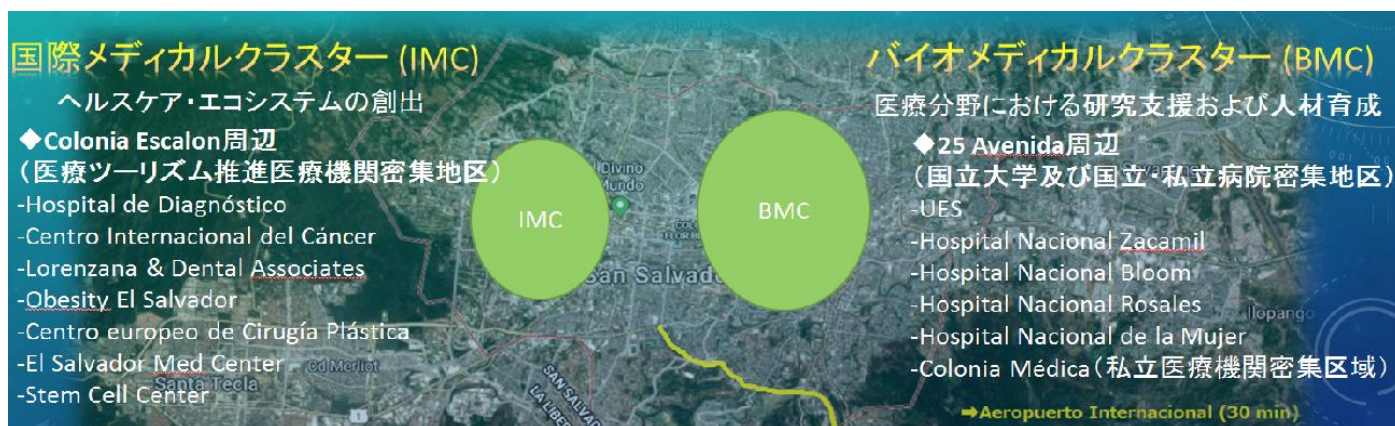
現在、在エルサルバドル日本国大使館は、当国政府やサンサルバドル市役所、民間の医療機関、関連企業と共に協議し、首都サンサルバドル市におけるスマート医療都市構想へのオールジャパンでの貢献策（MEDプラットフォーム戦略）を検討しております。つきましては、本概要を以下の通り連絡しますので、日本企業の皆様におかれましては、「中米の玄関口」となるエルサルバドルでの本戦略への参画のご関心につき、以下のメールアドレスにご連絡頂ければ幸いです。

在エルサルバドル日本国大使館 日本企業支援窓口：
nihonkigyuu@sv.mofa.go.jp

1 MED（医療・教育）プラットフォーム戦略の概要



首都サンサルバドル市にスマート医療都市を作りだし、医療・サービス業のプロフィットセンターとしてのヘルスケア・エコシステムを生み出すと同時に、医療分野の人材を育成するためのオールジャパンで取り組むべき開発協力戦略。



(1) ヘルスケア・エコシステムの創出

米国・中米からの医療ツーリストや、質の高い医療サービス・健康への関心の高い顧客層向けに、国際スタンダード・日本スタンダードのヘルスケアに係るエコシステム（例：健康食レストラン・日本文化コーナー、スイートルーム病棟を含む病棟運営、理学療法等の治療スペース、運動・スパ・マッサージ・美容・整形、薬局・サプリ、健康情報発信といったサービスを共創して提供）を創出。

同エコシステムを、ヘルスケアに係る最新情報や取引相手が集まるプラットフォームとしていくことで、経済活動やイノベーションを促進。

(2) 医療分野における研究支援および人材育成

医療分野での研究開発を行っている国立エルサルバドル大学や民間の医療機関に対し支援を行い、国際水準の研究者・医療従事者の人材を育成。同時に、人間ドックや生活習慣病に係る情報の発信を通じ、国民全体の健康意識を高める。

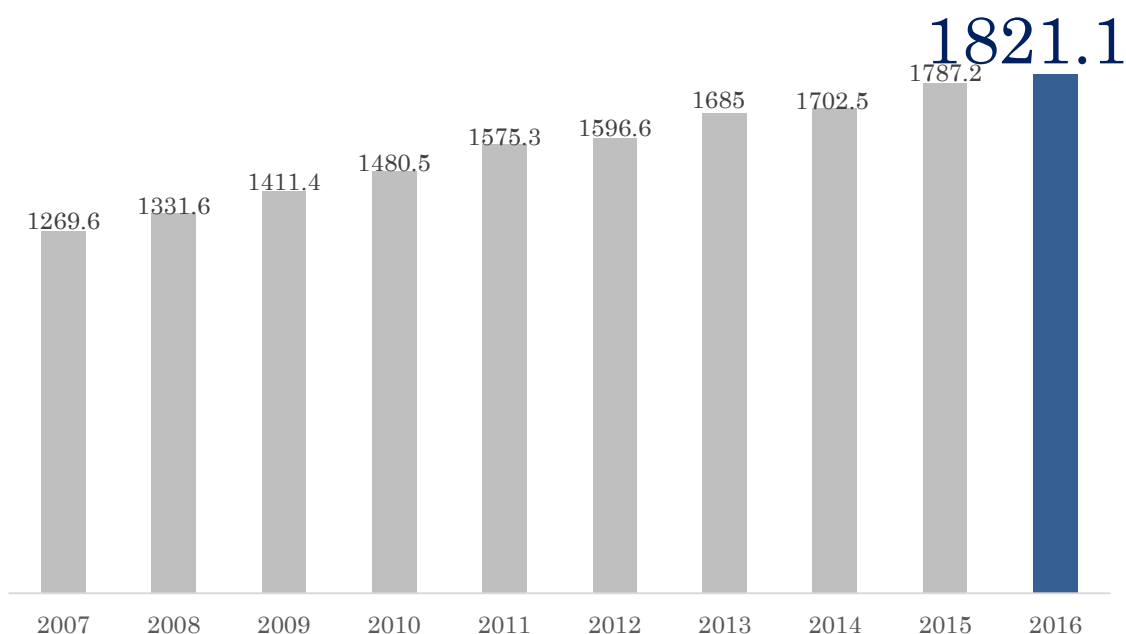
【上記2プロジェクトにおける日本企業のビジネス・オポチュニティ】

病院等の建設・運営
医療資機材提供
技術提携・投資
その他関連サービス

2 戦略策定の背景

(1) 医療=成長産業

エルサルバドルの医療市場規模 (単位: 百万ドル)



Fuente: Cuentas en Salud, Unidad de Economía de la Salud, Dirección de Planificación del MINSAL.

(2) 医療産業の市場ドライバー

ア 活気づく医薬品業界:

– ジェネリック医薬品の中米販売チェーン

– 在米エルサルバドル人家族の故郷ブランド医薬品への愛着 (ノスタルジック製品)

【エルサルバドルにおける各種産業内での医薬品セクターの順位】

- 民間投資第5位 (\$111.6 millones, BCR, 2015)
- 輸入第4位 (\$348 millones (約 2.9%))、輸出第7位 (\$132 millones (約 2.3%)) (BCR, 2017)
- 1人あたり平均所得第2位 (PROESA, 2017)

イ 最先端医療機器と豊富な技師：

－国際がんセンター

最新放射線治療装置「トモセラピー」を中南米で最初に導入、中米で唯一所有。

－10万人あたりバイオメディカル・エンジニア 3.06人：

アルゼンチンに次ぎ中南米第2位 (UDB, 2015)

ウ 医療ツーリズム新興国：

－医療ツーリスト5年間で2倍以上：11,365人(2010)⇒25,978人(2015)

－経済効果5年間で3倍以上：735万ドル(2010)⇒2,660万ドル(2015)

【潜在需要】

在米エルサルバドル人 300万人＋その配偶者等の北米人家族 1,500万人＋中米全体 4,800万人

●医療ツーリズムの例：

①エルサルバドルの通貨は米ドルであり、医療ツーリズムを推進する医療機関はどこも英語が通じることから、米国の医療ツーリズム代理店が、従業員用に米国の団体保険に加入している企業に対し、エルサルバドルへの渡航、国内移動、提携医療機関での受診予約、ホテル予約、観光等をパッケージで提供（企業は団体保険を活用し、社員医療ツーリズムの形でエルサルバドルに渡航）。

②中米の地域統合の結果、IDのみで自由に移動が出来ることもあり、近隣諸国の人々が、より質の高い医療サービスを求めてエルサルバドルに来訪。

●高額医療費の例：

①トモセラピー治療（ガン治療）：1回約 16,000米ドル（米国の約 1/5）

②米国式歯科インプラント：1本約 950米ドル（米国の約 1/3）

（3）疾病構造：生活習慣病が深刻化

●主要疾患トップ10：

途上国に多い下気道感染症、下痢性疾患といった感染症だけでなく、先進国に多い高血圧、糖尿病、慢性腎臓病といった生活習慣病が含まれている（WHO, 2017）。

生活習慣病の原因：肥満

「肥満率が高い国ランキング」（WHO）において中南米で第2位（世界第19位）

⇒近年、青少年の肥満が深刻化しており、生活習慣病対策が今後より重要度を増す。

（4）医療機関の種類と保険事情

エルサルバドルには、国民全員を公的医療保険で保障し、いずれの保険でも医療機関を自由に選べるような国民皆保険制度は存在しない。エルサルバドルには大別して3つの医療機関がある。

ア 国立医療機関：

全て無料だが、診療所、第二次病院、第三次病院と段階を踏んで診察を受ける必要がある。

（※国立大学病院は有料。）

イ 社会保険庁管轄病院（ISSS）

会社に勤めている場合は社会保険に入っており、社会保険庁所管の病院にて、個別治療費を支払うことなく、診察を受けることが出来る。

ウ 私立医療機関

私立医療機関は自由診療を実施。民間の医療保険に加入している場合、同保険会社が提携する医療機関にて、同保険の規定に基づき、保険の適用を受けることが出来る。

(参考) 保険の適用範囲

国立医療機関及び社会保険庁管轄病院においては、提供可能サービス内で治療費個人負担がかからないため、一連の医療行為について、保険診療と保険外診療の併用を認める、いわゆる混合診療のような事態は生じない。

民間の医療保険の場合は、保険会社、保険サービス毎に適用範囲が異なる。最先端医療に係る保険適用範囲も流動的で、例えば、幹細胞を用いた再生医療の治療については、2016年まで、保険適用を認める国内の保険会社は存在しなかったが、現在は、3社の保険会社が、幹細胞の治療にも適用可能な保険サービスを提供している。

(了)